

教育委員会の事務に関する
点検評価報告書

[令和2年度事業]

令和3年8月

男鹿市教育委員会

《 目 次 》

1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の方法	1
3	学識経験者の知見の活用	2
4	教育委員会会議の開催状況	2
5	教育委員会会議の審議状況	2
6	教育委員会会議以外の活動状況	3
7	令和2年度重点事業の点検・評価	5
I 【教育環境の整備】		
(1)	コミュニティ・スクール推進事業	5
(2)	小中学校学習環境整備事業	6
(3)	小・中学校ICT環境整備事業	7
(4)	男鹿市立小・中学校再編整備計画の策定	8
II 【地域間交流の機会充実と推進】		
(1)	男鹿・春日井市児童交流学習事業	9
III 【生涯学習の推進】		
(1)	明日を創る新成人の集い	10
(2)	子ども家庭地域連携推進事業	11

1 点検・評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正(平成20年4月1日施行)され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が、男鹿市総合計画に基づく重点事業の取り組み状況について点検、評価を行い、課題の方向性を明らかにすることにより、教育行政の一層の推進と市民への説明責任を果たしていくために、令和2年度に執行した事業について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに市民の皆様に公表するものです。

2 点検・評価の方法

本市教育委員会は、毎年度、教育目標を掲げ、その目標の実現に向けた重点事業を実施しており、これらの事業を対象に教育委員会自らが事務の執行状況について、点検・評価を実施したものです。

なお、令和3年度の点検・評価は、令和2年度事業を対象に実施しました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

男鹿市教育長・教育委員名簿 (令和2年度在籍)

職名	氏名	備考
教育長	栗森 貢	
委員 (~5/10)	安田 一彦	教育長職務代理者
委員	小玉 亜紀子	教育長職務代理者 (5/11~)
委員	吉田 貴美子	
委員	三浦 良忠	
委員 (5/11~)	目黒 重光	

3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められておりますので、本市教育委員会では、教育に関し学識経験を有する次の方から、意見をいただきました。

- 浅井 繁樹 氏
- 加藤 牧子 氏

4 教育委員会会議の開催状況

開催日	会議	場所
R 2. 5. 27	第3回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 2. 7. 29	第4回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 2. 8. 25	第5回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 2. 11. 20	第6回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 2. 12. 22	第7回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 3. 2. 10	第1回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
R 3. 3. 18	第2回教育委員会会議	市役所3階第1会議室

5 教育委員会会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「男鹿市教育委員会事務委任規則」第2条の規定に基づき、令和2年度は議案22件の審議と、報告事項等24件、合計で46件を取り扱いました。

(1) 議会の議決を経る議案に関する意見の申し出に関すること。 11件

- 令和2年度教育費 6月補正予算 8月補正予算 9月補正予算 12月補正予算 3月補正予算
- 令和3年度教育費 当初予算 4月補正予算
- 条例
 - ・男鹿市立幼稚園条例の廃止について
 - ・男鹿市市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例について
- 財産の取得
 - ・小学校学習用端末等、中学校学習用端末等の購入
- 和解及び損害賠償
 - ・市有バスの事故に伴う和解及び損害賠償額の決定について（市長専決処分）

(2) 教育委員会規則の制定及び改廃に関すること。 2件

- 男鹿市教育委員会事務委任規則の一部を改正する等の規則について
- 男鹿市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に係る決裁に関する規程の廃止について

(3) 教育施策の基本方針の決定に関すること。 12件

- 男鹿市教育委員会障害者活躍推進計画について
- 男鹿市立小・中学校再編整備計画について (3回)
- 男鹿市学校施設長寿命化計画について (2回)
- 男鹿市公共施設等総合管理計画の第1期個別施設計画について
- 男鹿市総合計画について
- 令和3年度学校教育の基本方針(案)及び重点目標と努力事項(案)について
- 令和3年度生涯学習の重点目標と施策の方向(案)について
- 第4次生涯学習推進計画について
- 男鹿市特定事業主行動計画について

(4) 教職員、事務局職員等の人事に関すること。 2件

- 令和3年度教職員人事異動について
- 令和3年度人事異動について

(5) 報告事項等 20件

- 教育長職務代理者の指名について
- 新型コロナウイルス感染症の対応状況・施策について (2回)
- 令和3年度使用教科書の選定について
- 令和2年度秋田県学力状況調査について
- 男鹿市小・中学校のいじめの認知状況について (3回)
- 明日を創る新成人の集い(男鹿市成人式)について (2回)
- 令和元年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について (2回)
- 市議会定例会での一般質問等(教育委員会関係)について (4回)
- 小中学校空調設備設置事業について (2回)
- 男鹿市立小・中学校再編整備計画説明会について
- 2月16日暴風による船川北公民館の被害報告について

6 教育委員会会議以外の活動状況

① 総合教育会議

- ・令和2年12月22日 市役所3階第1会議室
- ・男鹿市立小・中学校再編整備計画について

② 入学式（入園式）

* コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来賓等出席なし

月	日	学 校 名
(R2. 4. 7)		船川第一小学校、脇本第一小学校、船越小学校、北陽小学校 払戸小学校、美里小学校 男鹿南中学校、男鹿北中学校、男鹿東中学校、潟西中学校
(R2. 4. 8)		若美幼稚園

③ 卒業式（卒園式）

* コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来賓等出席なし

月	日	学 校 名
(R 3. 3.12)		(男鹿南中学校、男鹿北中学校、男鹿東中学校、潟西中学校)
(R 3. 3.16)		(船川第一小学校、脇本第一小学校、船越小学校、北陽小学校 払戸小学校、美里小学校)
(R 3. 3.17)		(若美幼稚園)

④ 学校訪問

月	日	学 校 名
R 2. 6. 5		脇本第一小学校、払戸小学校
R 2. 6. 10		北陽小学校、男鹿北中学校
R 2. 7. 2		船川第一小学校、男鹿南中学校
R 2. 7. 7		美里小学校、潟西中学校
R 2. 7. 8		男鹿東中学校
R 2. 7. 9		船越小学校

⑤ 学校行事等

* コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来賓等出席なし

⑥ 会議等

全県市町村教育委員会教育長会議

7. 令和2年度重点事業の点検・評価

I 【教育環境の整備】

(1) コミュニティ・スクール推進事業

方針・目標	市内小・中学校に「学校運営協議会」を設置し、学校・地域・家庭が一体となって学校をサポートする取組を推進し、地域に開かれた学校づくりを支援する。
目標値	<p>コミュニティ・スクールのメンバーにアンケートを実施。次の設問についての4段階評価で目標値を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの成果について（3. 2） ・コミュニティ・スクールが地域住民に周知できている（2. 5）
事務事業の実績	<p>平成28年4月に市内全小・中学校を一斉にコミュニティ・スクールに指定した。各校においては、10～13名で構成される「学校運営協議会」を設置し、年4～5回実施した。</p> <p>各校ではクラブ活動の指導や読み聞かせ、書写や楽器の演奏指導の他、地域の伝統文化学習や梨の受粉作業、なわなない体験等の多様な実践が行われた。</p> <p>地域住民への周知をねらい、CS情報交換会を12月に延期し、感染症対策を徹底した上で地域住民にも呼びかけて実施した。他校の実践に触れるとともに、講演会を通して今後の取組について考えを深める機会とした。</p> <p>○事業費決算 1,368,803円</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>（説明）</p> <p>○アンケート結果（回答101人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの成果について（3. 2） ・コミュニティ・スクールが地域住民に周知できている（2. 8）
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>（具体的な課題及び取組）</p> <p>コロナ禍で活動が制限される中、各校工夫した取組が見られた。地域への周知を重点としていたことから、CS情報交換会は広く地域住民に呼びかけ、また内容も講演を取り入れるなどの工夫をした。評価は若干上向いているが、今後も活動を通しての周知を図る必要がある。</p> <p>本事業も5年が経過し、各校の取組も安定してきているが、今後は地域の活性化につながるような新たな活動に取り組む必要がある。</p>
学識経験者意見	<p>○ 新型コロナウイルス感染症により事業の実施や交流に大きな影響が出ている。そのような状況の中で、CS情報交換会を開催した努力は評価したい。</p> <p>○ 「コミュニティ・スクールの推進に係るアンケート」の結果から、コミュニティ・スクールの取組を通して学校・地域・家庭が一体となって子どもたちを育てていこうとする意識が定着してきていることが分かる。児童生徒による地域での具体的な活動が見えてくると、地域住民への周知も進むものと考えられる。</p>

I 【教育環境の整備】

(2) 小中学校学習環境整備事業

方針・目標	安全安心な学校環境整備を推進するため、各工事を実施し、適切な教育環境の実現を図る。
目標値	令和 2 年度は男鹿南中学校屋上防水改修工事、美里小学校屋外給水管布設替工事を令和 2 年 8 月までに行う。
事務事業の実績	<p>◎男鹿南中学校管理・特別教室棟屋上防水改修工事 R2.4.28 着工～R2.7.16 完成 工事費 28,600,000 円</p> <p>◎美里小学校屋外給水管布設替工事 R2.4.10 着工～R2.5.7 完成 工事費 1,705,000 円</p> <p>◎小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事 R2.6.22 着工～R2.9.23 完成 工事費 小学校費：23,761,532 円 中学校費：18,339,868 円 計 42,101,400 円</p>
点検評価	<p>■目標を上回る □ほぼ目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る</p> <p>(説明) 生徒の安全を配慮しながら、工期の中で順調に工事を進めることができ、安全な学校生活を送るための施設整備を図ることができた。 また、GIGA スクール構想を進めるために必要な通信ネットワーク環境施設整備工事を実施し、教育環境の整備が図られた。</p>
点検による事業の課題	<p>□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他</p> <p>(具体的な課題及び取組) 「男鹿市立小・中学校再編整備計画」による将来の学校統合を勘案しながら、適切な施設の維持管理、安全な学習環境の整備を図らなければならない。</p>
学識経験者意見	<p>○ 事業は基本的には年次計画に沿って進められていると思うが、国からの新型コロナウイルス感染症対応の交付金によって全小中学の普通教室にエアコンが設置できたのは、学習環境整備に関して大きな前進である。</p> <p>○ 適切な状況判断に基づく速やかな対応により、当初の目標を上回る事業実績を上げることができたものとする。刻々と変化していく社会情勢の中、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるように、適切な維持管理、安全な学習環境の整備に今後ともご尽力いただきたい。</p>

I 【教育環境の整備】

(3) 小・中学校 I C T環境整備事業

方針・目標	児童の情報活用能力の育成やプログラミング教育の必修化に対応し、教職員の業務負担の軽減を図るため I C T整備を推進し、活用することにより教育の質の向上を図る。
目標値	令和 2 年度は中学校 4 校の学習系及び校務系の一体的な I C Tの導入・整備を行う。【目標リース開始時期 令和 2 年 9 月 1 日】
事務事業の実績	<p>◎中学校 I C T機器等リース事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約期間 R2. 9. 1～R7. 8. 31 ・事業費 令和 2 年度リース料 11,215,050 円（月額 1,602,150 円） 令和 3 年度～令和 7 年度債務負担額 84,913,950 円 <p>◎小学校 I C T機器等リース事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約期間 R1. 9. 1～R6. 8. 31 ・事業費 令和 2 年度リース料 19,843,056 円（月額 1,653,588 円） 令和 3 年度～令和 6 年度債務負担額 67,797,108 円 <p>◎小中学校学習用端末等購入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約日 R2.8.17 ・納入 小学校 R3.1.6 中学校 R2.12.9 ・事業費 小学校費：85,668,000 円 中学校費：32,098,000 円 <p>計 117,766,000 円</p>
点検評価	<p>■目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る</p> <p>(説 明)</p> <p>市内小学校で統一のシステム整備を図り、地域差なく、児童が I C Tに触れ、活用する機会を得て、今後社会活動で求められる能力育成のための環境整備を図ることができた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の活用により、GIGA スクール構想を前倒しし児童生徒 1 人 1 台のタブレット整備が実現できた。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>(具体的な課題及び取組)</p> <p>小・中学校のリースによる I C T環境整備を継続し、児童・生徒の学習効果向上のための機器等の有効活用を行う必要がある。</p>
学識経験者意見	<p>○ 新型コロナウイルス感染症対応の交付金により、一気に事業のハード面は前倒しができたのはよかった。導入機器の有効活用が望まれる。</p> <p>○ 機を逃さずに市内全小・中学校の I C T環境を整備することができたことを評価したい。機器等の有効活用について、学校へのきめ細やかな指導・支援をお願いしたい。</p>

I 【教育環境の整備】

(4) 男鹿市立小・中学校再編整備計画の策定

方針・目標	令和2年1月に男鹿市立小中学校の在り方を考える協議会よりの意見書(提言)いただき、学校統合を含めた、子供にとってより良い教育環境整備を図るための計画を策定する。
目標値	令和2年12月までに計画を策定する。
事務事業の実績	<p>「男鹿市立小・中学校再編整備計画(素案)」を作成し、10月に各地区の市政懇談会(9地区)での説明や各小中学校で保護者等意見交換会(10校)を行い周知を図った。</p> <p>意見交換会の意見も参考に12月に「男鹿市立小・中学校再編整備計画」を成案とし、その周知と理解を得るため、1月に統合対象校地区(北浦、潟西、払戸地区)において説明会を開催した。</p> <p>男鹿北中学校、北陽小学校の統合については、保護者アンケート調査を実施し、その結果の説明会を3月に行った。</p> <p>事業費 なし</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>(説明)</p> <p>児童生徒の減少による学校の小規模化、複式学級の弊害を考慮し、適正な規模の教育環境を整備するため、計画を策定し、説明会を行った。</p> <p>説明会では、地域と学校の存続についての意見もあったが、令和4年度に統合予定の男鹿北中学校については、保護者アンケートにおいて8割の同意があり、計画を具体化していかなければならない。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(具体的な課題及び取組)</p> <p>計画の策定は目標どおり進めることができたが、計画の実現のために、通学方法や生徒の交流など検討課題の解決を図らなければならない。</p>
学識経験者意見	<p>○ 計画は平易で分かりやすい内容である。既に計画実現のための保護者アンケートや説明会が実施されている。諸課題もあるが、子どもたちの教育環境に与える影響は極めて大きい計画であり、今後の計画推進に期待している。</p> <p>○ 「男鹿市立小・中学校再編整備計画」の策定に係る一連の流れは一つ一つ順序を踏み大変丁寧である。</p> <p>多くの課題の解決に向けて、関係する方々との情報共有や情報発信を今後も丁寧をお願いしたい。</p>

II 【地域間交流の機会充実と国際交流の推進】

(1) 男鹿市・春日井市児童交流学習事業

方針・目標	昭和62年から始まった本事業は、令和元年度で33回（男鹿市児童の春日井訪問は30回）を数える。両市の代表児童が、3泊4日の日程で相互に訪問し、交流校における学習会、ホームステイ、市長表敬訪問、文化・歴史施設等において宿泊体験学習を実施する。
目標値	<p>①体験活動や交流会に楽しく参加して友情を深めるとともに、思いやりの心を積極的に態度で表すことができるようにする。</p> <p>②多くの友人や人との交流に際し、進んであいさつするとともに、相手や場に合った言葉づかいや行動ができるようにする。</p> <p>③交流先の文化遺産、自然等にふれ、改めてふるさとについて考えを深めることができるようにする。</p>
事務事業の実績	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、本事業中止となった。 事業費決算 0円
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>(説明) 本事業中止のため評価せず。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(具体的な課題及び取組)</p> <p>長年本市で春日井市交流団を受け入れてきた民宿が廃業した。次年度以降の宿泊先を探しているが、春日井市の訪問の時期が竿灯祭りの時期と重なるため、男鹿市内の宿泊施設は全て大手旅行会社に一括借り上げされており、宿泊施設確保の目処が立っていない。</p>
学識経験者意見	<p>○ 事業を実施しておらず、予算も執行されていないので、評価することはできない。今回は、このような観点から本事業を評価項目から削除しても良かったのではないか。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止したことは妥当な判断であったと考える。</p> <p>本市での宿泊施設確保の案件は、大きな課題である。</p>

Ⅲ【生涯学習の推進】

(1) 明日を創る新成人の集い（男鹿市成人式）

方針・目標	成人としての自覚と責任感を高揚し、明日の男鹿を担う世代の限らない発展を願い、新成人としての門出を祝福するために開催する。
目標値	新成人より構成される実行委員とともに、新成人を激励し、明日への活力を生み出せるような成人式を実施する。
事務事業の実績	<p>日 時：令和 3 年 1 月 10 日（日）13：00～ ⇒ 延期</p> <p>会 場：男鹿市民文化会館 大ホール</p> <p>参加数：－</p> <p>決 算：118,952 円（コピー代、紙代、コロナ対策用品代、郵券代）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員 8 名 ・実行委員会 6 回開催 ・参加申込人数 230 名（新成人 104 人 家族 126 名） <p>令和 2 年度の男鹿市成人式は、新型コロナウイルスの第 3 波が猛威をふるい政府の観光支援事業（GO TO トラベル）が全国的に一時停止になったことなどを踏まえ、新成人、成人式出席者、男鹿市民の健康と安全面を考慮し、市で協議した結果、令和 4 年 1 月 9 日（日）に 1 年延期することとした。 （令和 2 年度の成人式対象者をそのまま令和 3 年度に行うこととする）</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>（説 明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果的に延期となったが、実行委員と事務局が協力してコロナ禍における成人式開催に向けて準備、検討し、予防対策などについて男鹿みなと市民病院とも連携しながら成人式の開催について検討することができた。 <p>このことを、令和 3 年度の成人式開催に向けて活かしたい。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>（具体的な課題及び取組）</p> <p>成人式対象者などについて広報するとともに、コロナ禍において柔軟な対応を心掛けながら成人式開催に向けて準備したい。</p>
学識経験者意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成人式は次年度に延期になったが、新型コロナウイルス感染症の中で実行委員会を開催し、式の開催を目指して様々な検討を続けた努力を評価したい。 ○ 状況を適正に判断し、柔軟な対応に努めていただきたい。

Ⅲ【生涯学習の推進】

(2) 子ども家庭地域連携推進事業

方針・目標	学校と家庭、地域が連携・協働して、子どもたちの学びや成長を支えつつ、地域住民の生涯学習、地域のつながり及び絆を強化し、地域活性化を図る。
目標値	<p>【放課後子ども教室】学校放課後の空き教室等を活用し、地域住民や保護者が協力しながら子どもたちと様々な学習、体験活動等を行う。</p> <p>・市内小学校 6校×7回 ・休日（全校対象）×3回</p> <p>【家庭教育支援】家庭教育支援チームによる学習会を開催するとともに、家庭教育に関する相談支援を行う。</p> <p>・子育て元気アップ講座（年間 4回） ・お茶っこサロン（年間 10回）</p>
事務事業の実績	<p>放課後子ども教室 市内小学校 6校（平日 41回開催） （全校対象 休日 1回開催）</p> <p>家庭教育支援 子育て元気アップ講座（4回開催） お茶っこサロン（15回開催）</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>（説明）</p> <p>【放課後子ども教室】 地域の方が知識や経験を活かしながら、子どもたちと活動することでお互いに良い影響を与え合っている。協働活動として PTA 等の学校行事で先生の代わりに地域の方が子ども見守り活動を行うなど、先生方の負担軽減につながった。</p> <p>【家庭教育支援】 新たにお茶っこサロン開催を希望する小学校もあり、学校や地域に活動が周知されていることを実感できた。また、コロナ禍において、ホームページの作成や市独自の研修を開催するなど状況を考慮しながら活動することができた。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>（具体的な課題及び取組）</p> <p>・地域学校協働活動推進員をまとめるための統括コーディネーターの発掘、育成が必要。</p> <p>・家庭教育支援チーム員の固定化により、新しい人材の発掘とリーダー候補者の育成が必要。</p>
学識経験者意見	<p>○ 施策については概ね順調に実施されている。新型コロナウイルス感染症禍で子どもが家庭で過ごす時間が増加しており、家庭教育の役割が増していると思う。事業の継続のために人材発掘・育成に努力していただきたい。</p> <p>○ 「放課後子ども教室」も「家庭教育支援」も、ほぼ目標どおりに開催することができている。学校・子ども・保護者・地域の方それぞれにとって大変有効な活動になっており、継続されることを望む。</p>

